

フィンテックでKYC／AMLの誤検出を75%削減

BABEL STREET ANALYTICS

ヨーロッパでは、大手金融機関から個人の会計士、弁護士、不動産ブローカーに至るまで、さまざまな企業が、欧州のマネーロンダリング対策（AML）規制を遵守するために、顧客の身元を明らかにする必要があります。しかし、これらの要件は面倒な場合が多く、用紙の記入やパスポート情報の収集、最終受益者（UBO）データの収集などが求められます。フィンランドを拠点とするフィンテック企業DOKS®は、本人確認（KYC）とAMLのためのクラウドベースのツールとプロセスを通じて、コスト削減と省力化を実現しています。

DOKSは、KYC／AMLプロセス全体のデータを電子的に収集して保存し、事務処理をデジタル化します。組織内のUBOや潜在的に重要な公的地位を有する人物（PEP）を特定するために、現地の商業登記簿や事業登記簿のデータを参照して、北欧の顧客の国内銀行IDやその他の電子IDサービスを通じて身元を検証することで、地域および国固有の監視対象者リストと照合してリスクを評価します。

課題

DOKSは、以下の作業を行う際に名前とIDの照合を行う必要があります。

- ・ 制裁対象者リストを使ったスクリーニング
- ・ 電子IDの照合

DOKS社製の名称照合ツールでは、個人名や会社名のバリエーションの多さや、制裁対象者リストのスクリーニング件数の増加に対応できませんでした。ま

た、既存のツールでは、電子ID照合における誤検出が多発していました。DOKSの顧客が制裁対象者リストに一致するケースを一件でも見逃した場合、多額の罰則が科され、評判を損なうこととなります。

DOKSが行う処理は、ほぼすべてがラテン文字を使用する言語で行われていますが、企業、法人、所有者に関するデータはあらゆる言語やアルファベットで記録されている可能性があります。

ソリューション

DOKSは、商用版やオープンソースの名称照合ソリューションを検討しました。正確性（さまざまな言語や文字で名前を照合する機能を含む）に加えて、大量のデータを迅速に処理できることが中核的な要件でした。Babel Street Matchは、DOKSのエンジニアがすでに使い慣れていたElasticsearchにプラグインとして追加できるため、正確性とスピードの面でニーズを満たすものでした。

Matchには、DOKSを魅了した機能が他にも2つあります。それは、一致の信頼度スコアと説明可能性です。

一致信頼度スコア — Matchでは、0~100%の直感的なスコアが生成され、ユーザーがしきい値となるスコアを設定できます。このスコアを超えると、2つの名前が一致したとみなされます。一部の企業では、誤検出を減らすためにより高いしきい値を設定する場合があります。また、できるだけ検出漏れを防ぐために、しきい値を低く設定するケースもあります。

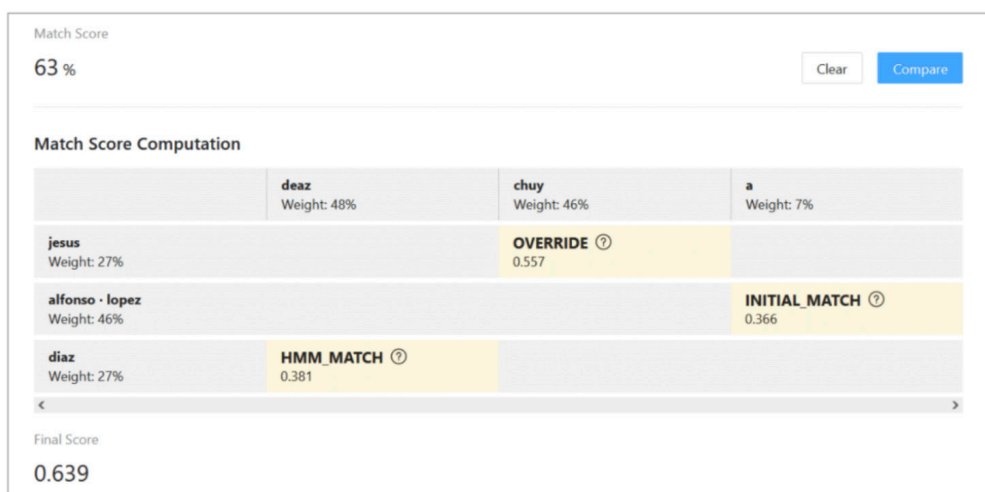
「この妥当性スコアは不可欠です」と、DOKSの共同創業者兼パートナーであるPetteri Tenhunen氏は

述べています。「このスコアによって、お客様の固有の要件に合わせて名前照合を設定し、誤検出を減らすことができます」

説明可能性 — 名称の比較を行うたびに、Matchを支えるAIとテクノロジーが一致スコアの計算根拠を提示します。DOKSは第三者による監査を継続的に受けており、算出されたスコアの根拠を示す義務があります。

「お客様が当社のデューデリジェンスレポートを確認する際には、システムがなぜその結論に達したのか、なぜ一致率が65%ではなく80%だったのか、強い関心を寄せられることが多い」とTenhunen氏は語っています。

Tenhunen氏はさらに「名前の一致は、誤検出を減らすための肝であり、そこを重視しているプロバイダーはほぼいませんでした。当社が目指しているのは、お客様が規制上の義務への対応に費やす時間を短くすることです。Babel Street Matchは最先端の技術で、お客様に最高のソリューションを提供することを目指す当社のKYC製品を補完してくれる存在です」と述べています。



Matchの管理画面では、「Jesus Alfonso-Lopez Diaz」と「Deaz Chuy A」の一致スコアである63%という数字について説明されています。Babel Street Matchは「diaz」と「deaz」の統計的一致（HMM）、「Jesus」と「Chuy」のニックネームの一致（オーバーライド）、「A」と「Alfonso-Lopez」のイニシャルの一致を検出しました

効果：KYC／AMLスクリーニングにおけるエラーの減少

DOKSは、すべての顧客をBabel Street Matchを使用するシステムに切り替えて以来、好意的なフィードバックを得ています。制裁対象者リスト上のエン트리と一致するたびに、DOKSの顧客には、照会された名前と、リストに含まれる最初の情報（生年月日、役職、居住地など）が表示されるため、誤検出をすばやく排除して次の対応を決定できます。

Tenhunen氏は続けて以下の通り述べています。

「Matchを利用することで、最良のケースでは誤検出の数が最大75%減少し、それでも結果の信頼性は損なわれていません。これは、DOKSでAMLプロセスを実行しているお客様にとって大幅なコスト削減を意味します」

Babel Street Matchを利用することで、最良のケースでは誤検出の数が最大75%減少し、それでも結果の信頼性は損なわれていません。

— DOKSの共同創業者兼パートナー、
Petteri Tenhunen氏



Babel Streetは、信頼あるテクノロジーパートナーとして、世界最先端のアイデンティティインテリジェンスとリスク対策を実現します。Babel Street Insightsプラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度なAIとデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Streetは、言語を問わずにすぐに分析に使える最高レベルのデータを提供し、プロアクティブなリスク特定、多面的なインサイトの取得、高速自動処理、既存システムとのシームレスな連携を実現します。政府機関や企業が、身元の特特定やリスクに関するハイリスクな業務を戦略的優位性に転換できるよう支援します。

詳しくは、babelstreet.jpをご覧ください。



© 2024 Babel Street. All Rights Reserved.

